

白内障(はくないしょう)について⑪

では、前回号に引き続き「日本白内障屈折矯正手術学会 (JSCRS)」のホームページ

<http://www.jscrs.org/>に掲載されている白内障についての解説文を引用して行きます。

@@

本当に視力障害をきたすと判断された先天白内障は成人に起こる白内障と違って、早く発見して手術を行わないと、視力の発達が妨げられて高度の弱視になってしまう可能性があります。とくに、乳児期の特殊なものでは早く手術を行うほうがよいと考えられています。そうすることによりきれいな画像を網膜に送ることができます。

新生児や子供の白内障手術では全身麻酔による顕微鏡下手術が行われます。濁った水晶体は小さな傷口から吸い出すことが可能です。そのあとの対応ですが、術後にコンタクトレンズ・無水晶体用眼鏡による矯正が必要です。2歳以降に白内障が進行して手術が必要になった場合には、成人と同じように眼内レンズを挿入する手術法の適応となることがありますが、度数が変化するため術後に眼鏡による矯正が必要です。

先天白内障の眼には、他にも色々な合併異常が見つかることがありますので、手術の適応や手術法はそれぞれ異なります。先天白内障で手術治療を受けた場合には、良い視力を伸ばすために、就学後までご家庭で弱視訓練に取り組む必要があります。悪い方の目の弱視などあれば、健眼遮閉(片眼性の場合に良い方の眼をアイパッチで隠して悪い眼の方を使わせる訓練)を開始すると、最良の視力が発達します。また緑内障、網膜剥離などを併発することがあるため、成人になっても定期的に眼科で検査を受ける必要があります。以上のことに加え、子供の手術では眼球の大きさが小さいなど成人の白内障よりも難易度が高いことがあり、小児白内障手術を実施している医療機関へ受診することが望ましいです。

2.眼内レンズ縫着・固定

眼内レンズを挿入して目のなかで固定する場合には、濁った水晶体を吸い出した後に水晶体嚢という袋の中に固定する方法や袋の上に固定する方法があります。水晶体嚢は天然の糸のようなもの(チン小帯)で端が留まっていますが、加齢や外傷あるいは偽落屑症候群などでこれらが弱くなったり断裂したりしている場合があります、この際には水晶体嚢を使って眼内レンズを固定する場所がなくなってしまいます。このような場合には眼内レンズの支持部というレンズ本体ではない部分を糸などを使い、眼球の壁にあたる強膜という部分に直接固定する特殊な手術を行う場合があります。手術の途中からこの手術を追加する場合は大変時間がかかる場合あり、硝子体切除が必要な場合も多く、施設によっては日を変えて準備を整えて続きの手術をしたり、別の施設で紹介したりして続きの手術を行う場合があります。

その他

1.青視症

青視症とは、それまで水晶体によってカットされていた青色光線がカットされなくなったことにより、青いものが非常に鮮やかに見える症状のことです。水晶体は、加齢と共に黄色みを帯び、青色の光を遮るようになりますが、白内障の手術でこの水晶体を除去し、眼内レンズ取り替えると、急に、若い頃と同じように多くの青色光が目に入射するようになります。そのため、手術以前に比べて青い色が鮮やかに見えるようになります。これを青視症といい、その後目が慣れていくため、約3ヶ月ほどで、意識しないで物を見ることができるようになります。

2.飛蚊症

手術後にものがちらちら飛んでみえる飛蚊症を自覚する場合がありますが、その原因の多くは、本来加齢によって現われる飛蚊症が、白内障のために一旦気づかなくなり、術後に濁りがなくなって初めて気づくというものです。ただし、非常にまれですが、網膜裂孔など、他の疾患が同時期に発生していることもありますので、念のため診察をうけて頂く方が無難です。

@@

誌面の都合にて今回のフジタガンカニューズはここまでです。続きの引用は次回号をお楽しみに！今年もスギ花粉の飛散が始まりました。症状の強い方にとっては憂鬱な季節ですね…例年の事ですが当院では点眼の他、軽症であれば鼻炎対策の内服や点鼻など一般的な治療薬の処方にも対応しています。ご要望の方は院長もしくはスタッフまで申し出て頂けたらと思います。ただしその対応にて改善がなければやはり専門科の受診がおすすめです。

今月のお知らせ

今年のゴールデンウィークは天皇の即位に伴って大型連休となります。当院の診療は暦通りの予定なので**4/28(日)~5/6(月)が9日間連続の休診**となります。申し訳ありませんが、ご理解のほどお願い致します。また秋(10/22(火))にも即位礼正殿の儀に際しての祭日がありますが、当院はこの日も休診とさせていただきます。



<http://www.fujita-ganka.com>



FUJITA-EYE-CLINIC
藤田眼科
エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)
F-Vision

☎ **042 (645) 0575**
☎ **042 (642) 2911**